

数学 I

教科	科目名	単位数	学年・コース	教科書名	副教材
数学	数学 I	3	1年 S 選抜	数学 I, II (数研出版)	4 STEP 数学 I + A 数学 II + B (数研出版)

学習目標	公式を暗記するだけでなく、『理解する』ということを重視し、数学的な見方や考え方を身につける。
学習の進め方	日々の数学の学習では復習を中心に行ってください。教科書では演習問題の数が少ないので、日々副教材の問題集や参考書の問題を解くなど自分で工夫してなるべく多くの問題を解くようにしてください。
評価対象・方法	定期試験・単元別試験・小テスト・宿題への取り組みを総合的に評価します。尚、各講習での学習内容も試験に含みます。
受講に向けての心構えと準備	2学期に入ると2年生からの理数系・文科系コース選択を考えることになります。このことと、受験科目の選択は皆さんが大学受験をする際に大きく影響してくる非常に重要な事柄です。数学が必要な受験を選択する場合、数学に対する意識（好きか嫌い、苦手意識があるかないか、より難易度の高い問題に臨む気があるかないかなど）がポイントの1つとなりますので、一年間を通してしっかり見極めていきましょう。

	学習事項	学習内容	備考
一学期	○数 I 第 1 章 数と式 第 1 節 式の計算 第 2 節 実数 第 3 節 1 次不等式	数を実数まで拡張することの意義を理解し、式の見方を豊かにするとともに理解を深める。 グラフと 2 次関数の解を、数直線上に図示して考えることができるようにする。	第 1 回スタディサポートのフォローアップ
	中間試験		
	○数 I 第 2 章 集合と命題 第 3 章 2 次関数 第 1 節 2 次関数とグラフ 第 2 節 2 次方程式と 2 次不等式	命題に関する基本的な概念を学び、集合の考えを用いて条件について理解を深める。 グラフと 2 次関数の関係をしっかりと考察し、最大値や最小値を求める。 2 次方程式の解の公式を見だし、因数分解も利用しながら解く。2 次関数のグラフとの関係を理解し、グラフと関連させて考察できる。判別式の意味を正しく理解する。2 次不等式の解を、グラフを用いて理解する。	
二学期	○数 I 第 4 章 図形と計量 第 1 節 三角比 第 2 節 三角形への応用	直角三角形における三角比の定義をもとに、三角比の値が、同じ角度に対して相似な図形でも常に一定であることを理解する。鈍角の三角比の値について、座標を用いた定義に拡張する考え方を学ぶ。また、三角比の相互関係について学び、それを応用する。正弦定理・余弦定理を利用して三角形の辺の長さを求める。	第 2 回スタディサポートのフォローアップ
	中間試験		
	○数 I 第 4 章 図形と計量 第 2 節 三角形への応用	正弦定理・余弦定理を利用して、直角を持たない三角形についても、辺の長さや面積、内接円の半径などを求められるようにする。また、空間図形において、立体を切断したときの断面の面積や、立体の体積を考えていく。	11 月 進研模試のフォローアップ
三学期	○数 I 第 5 章 データの分析 ○数 II 第 1 章 式と証明 第 1 節 式と計算	資料を整理した度数分布表、ヒストグラム、散布図を理解し、情報を視覚的に捉える。資料の散らばり度合いや相関関係を調べる。 整式の乗法・除法及び分数式の四則計算について理解する。	1 月 進研模試のフォローアップ
	学年末試		